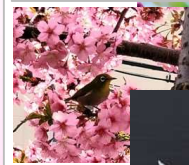


第82回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2025年 4月24日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館 ニテ
- 2 参加人数 ・男性7名・女性2名・投句2名 計 11名
- 3 今回の季語 四月(卯月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



*写真で一句!
兼題: 鳥



*鳥一声木々を貫き春を呼ぶ

・散り初むる堤の桜惜しみけり

・君と行く竹林の奥初音聞く

・感触の柔き足裏や若草野

*大空を蹴って雲雀の急降下

・渡月橋渡り終えるや孫娘笑顔

・芝桜畔を映えだすいやしの色

・落ち椿道端並べ惜しむかな

・朝日浴び川に写せる菜花かな

・故郷で兄弟夫婦春うらら

・ヒラヒラと手を振る花に独り言

・見上ぐれば雲に溶け込む春の月

・藤の花甘き香に寄るハチの群

・水清く映す宇治川新緑を

*春琴の声の降り来る窓辺かな

*桜花枝から枝えとぶメジロかな

*軒下の巢から顔出す燕の子

- 5 講評・添削 披講担当: 園田 さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・囀りにかざして探す鳥いずこ

※春の季語

・君と行く竹林の奥初音聞く

※鶯の鳴き声

・夕日差す間つぎつぎ竹の秋

※春を表すの季語

・幼児一人桜下の下におり

※子供が満開に桜に喜んでる様を表現しては!

・捨てかねる投句漏れ集春惜しむ

※選句されなかった俳句集の意味が解る言葉に変えては!

- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・満開の花を濡らして春の雨

※"満開の花"は桜を意味し春の季語

・藤の花甘き香に寄るハチの群

※ハチは春の季語

季語重なり!

・桜花枝から枝えとぶ小鳥

※小鳥は秋の季語

→ "メジロかな"に変更しては!

・軒下の巢から顔出す小鳥かな

→ "子つばめや"または"燕の子"に変更しては!

- 6 次回(#82)開催日 2025年 5月29日 13:00~(15:00) 第4木曜日

兼題: 五月(皐月)の季語全般

写真で一句 : 鯉のぼり

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!

選外句

- ・思い出に声を預く卒業歌
- ・捨てかねる投句漏れ集春惜しむ
- ・囀りにかざして探す鳥いずこ
- ・幼児一人桜下の下におり
- ・満開の花を濡らして春の雨
- ・蕾から大成期する四月なり
- ・夕日差す間つぎつぎ竹の秋
- ・花曇り疲れを残しふくらはぎ
- * 春の海波打際に鳴く千鳥
- * いっせいに鳴き手飛び立つ残り鴨
- * しぶき立つ翡翠羽色水の色
- * 雷鳥の白毛変わりて夏来る
- * ホーホーの鳴き声進化ホケキョかな
- * 春深き巨木に鳥は向い合い